


職業感染制御研究会 JES2015

エピネット日本版サーベイ2015 (JES2015)
針刺し・切創及び皮膚粘膜曝露

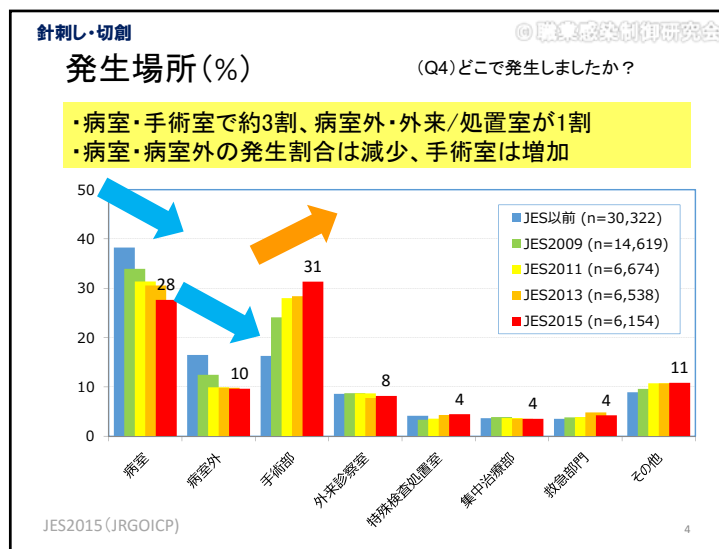
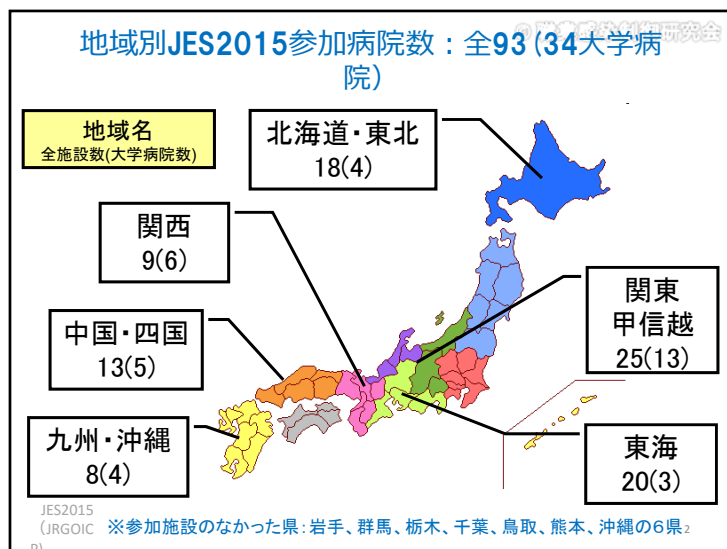
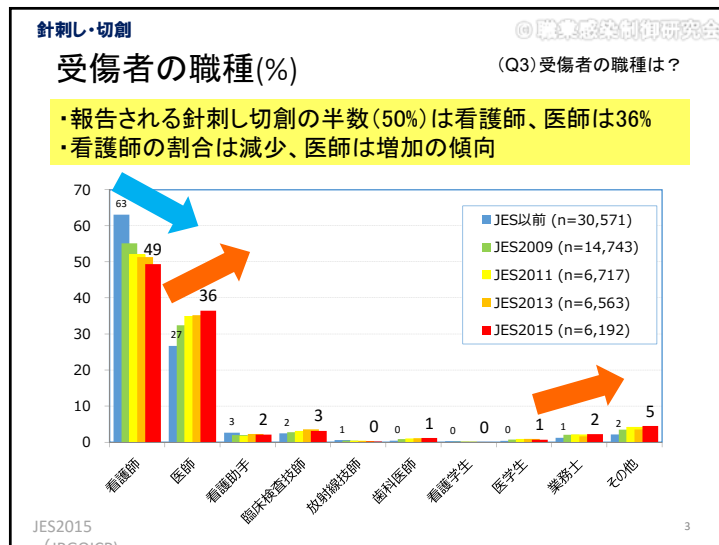
木戸内清 (岐阜県東濃保健所、産業医)

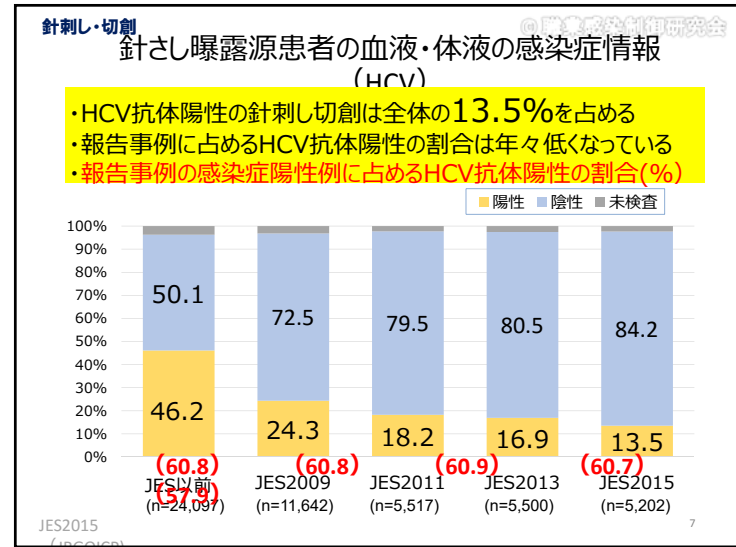
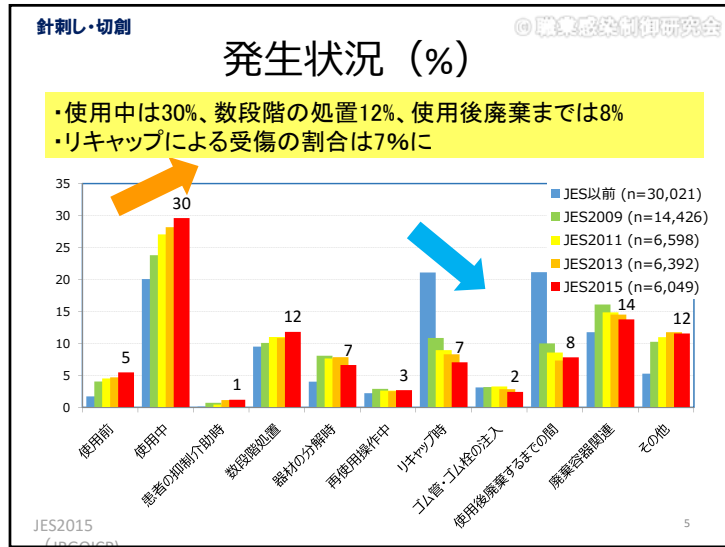
エピネット日本版サーベイランスワーキンググループ2015 (JESWG2015)

李宗子(神戸大学医学部附属病院、ICN)
 網中真由美(国立看護大学校、ICN)
 黒須一見(荏原病院、ICN)
 吉川徹(独立行政法人 労働安全衛生総合研究所、医師)
 満田年宏(公立大学法人横浜市立大学附属病院、医師)
 森澤雄司(自治医科大学医学部附属病院、医師)
 和田耕治(国立国際医療研究センター、医師)
 森屋恭爾(東京大学大学院医学系研究科 感染制御学、医師)



1

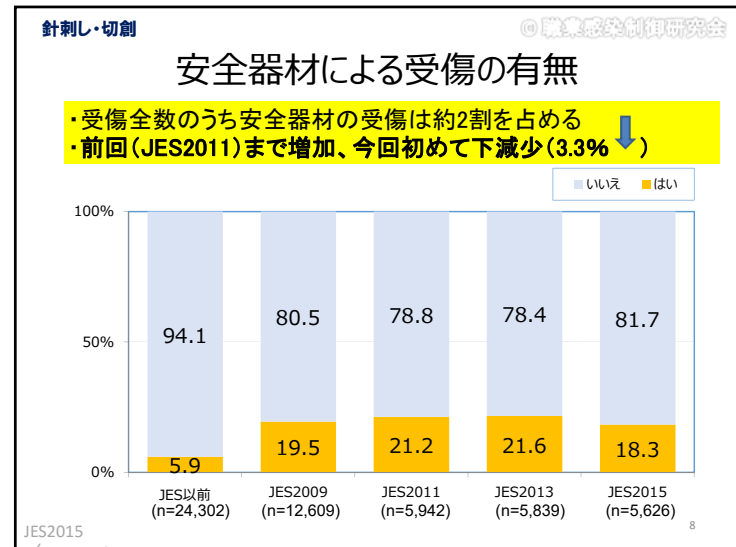


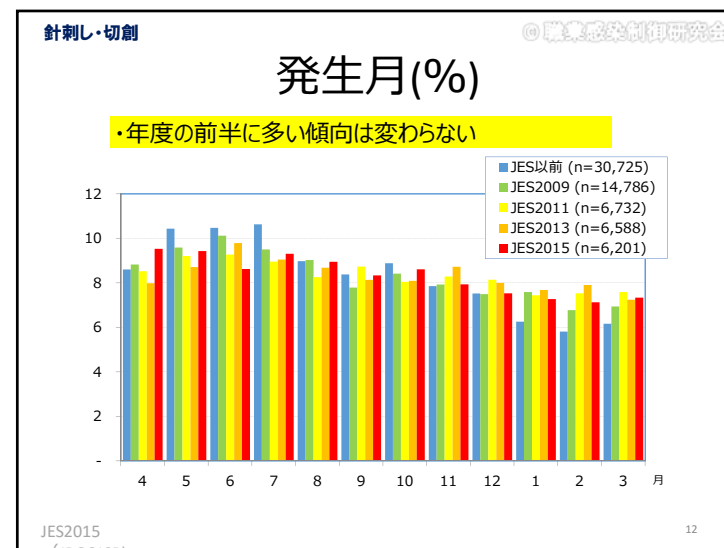
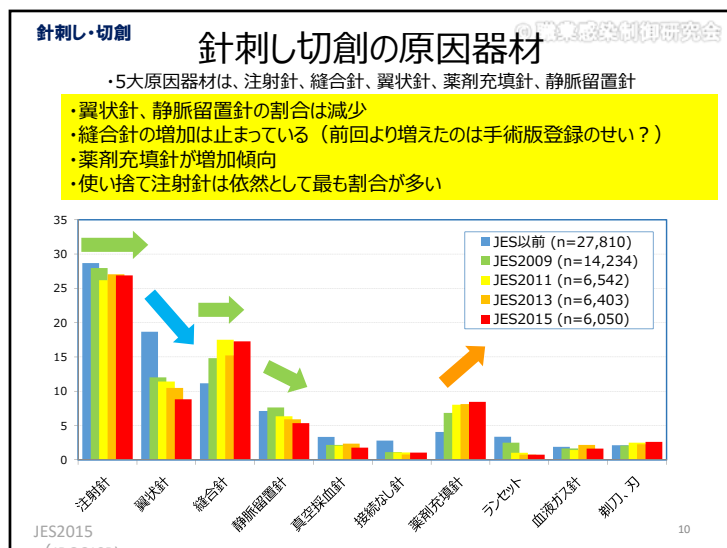
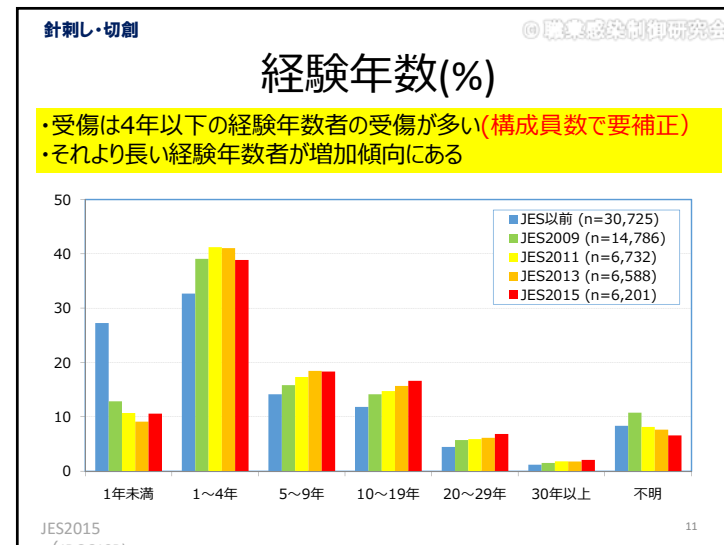
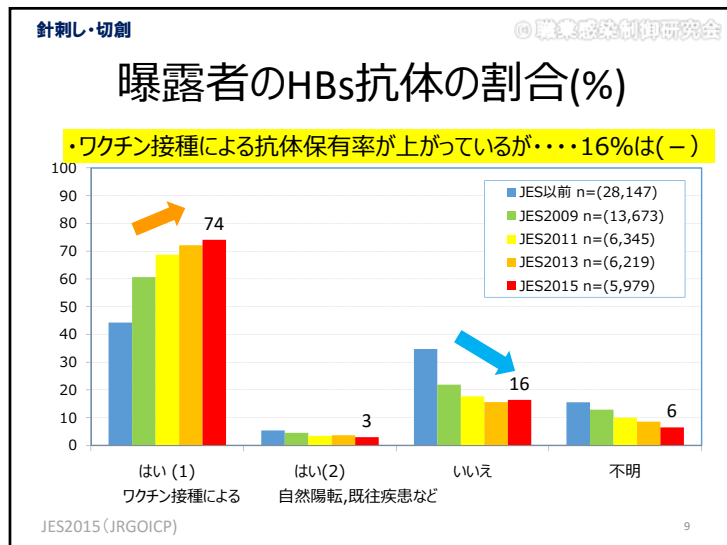


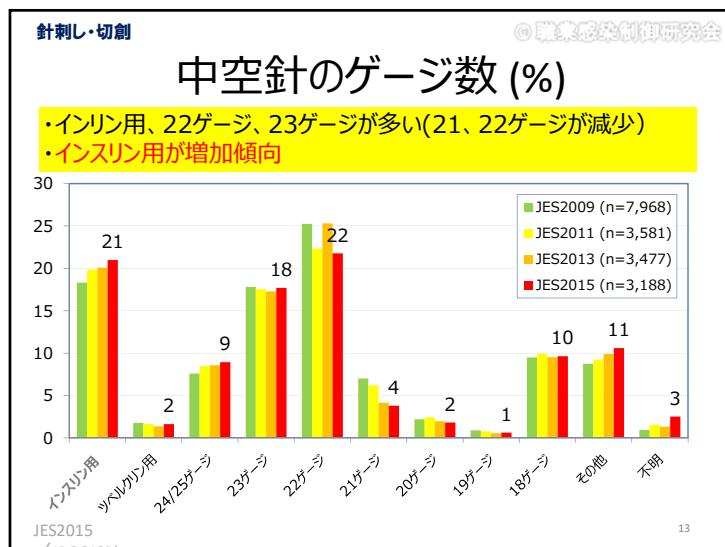
参考：病床規模別の針刺し切創発生率 (100稼働病床あたり、JES2011)

	399床以下 (n=25 hospitals)		400-799床 (n=24 hospitals)		800床以上 (n=18 hospitals)		p-value (Trend)
	Mean	95%CI	Mean	95%CI	Mean	95%CI	
発生率(件数/100床)	4.8	(4.1-5.6)	6.7	(5.9-7.4)	7.6	(6.7-8.5)	<0.01
年齢							
20-29	2.1	(1.6-2.5)	3.5	(3.0-4.1)	4.5	(3.9-5.0)	<0.01
30-39	1.6	(1.3-1.9)	1.9	(1.6-2.2)	2.2	(1.8-2.5)	<0.01
40-49	0.8	(0.6-1.0)	0.8	(0.7-0.9)	0.6	(0.4-0.7)	0.15
50+	0.4	(0.3-0.4)	0.4	(0.3-0.5)	0.4	(0.3-0.5)	0.2
職種							
医師	2.8	(2.5-3.2)	3.3	(2.9-3.8)	3.9	(3.4-4.3)	<0.01
看護師	1.4	(1.1-1.8)	2.5	(2.1-3.0)	2.6	(2.1-3.1)	<0.01
発生した場所							
病室	1.6	(1.3-1.9)	2.0	(1.7-2.3)	2.5	(2.1-2.8)	<0.01
手術室	1.2	(0.9-1.6)	1.9	(1.6-2.3)	2.0	(1.7-2.3)	<0.01
病室以外の病棟	0.5	(0.4-0.6)	0.6	(0.5-0.7)	0.8	(0.7-0.9)	<0.01
外来	0.4	(0.3-0.5)	0.6	(0.4-0.7)	0.7	(0.6-0.8)	<0.01
集中治療室	0.2	(0.1-0.2)	0.2	(0.1-0.3)	0.3	(0.2-0.4)	<0.01
救急部	0.2	(0.1-0.3)	0.3	(0.2-0.4)	0.2	(0.2-0.3)	0.2

Yoshikawa T, Wada K, Lee JJ, Mitsuda T, Kidouchi K, Kurosu H, Morisawa Y, Aminaka M, Okubo T, Kimura S, Moriya K. Incidence rate of needlestick and sharps injuries in 67 Japanese hospitals: a national surveillance study. *PLoS One*. 2013; 8(10): e77524(1-5)







針刺し切創 JES2015 結果要約 2

- ・ 受傷原因器材
 - 5大原因器材は「注射針」「縫合針」「翼状針」「薬剤充填針」「静脈留置針」
 - 「使い捨て注射針」は依然として最も割合が高い
 - 「薬剤充填針」は増加傾向続く
 - 「縫合針」の割合増加は止まっている
 - 「翼状針」「静脈留置針」の割合は減少
- ・ 本報告では全体的な傾向のみ示しました。
- ・ 稼働病床数や器材使用数等を利用した発生率等の解析結果は次演者の李先生の報告で概説します。
- ・ 解析詳細は参加施設へフィードバックします。

JES2015参加施設の皆様に心から感謝申し上げます

JES2015 (JES2015)

針刺し切創 JES2015 結果要約 1

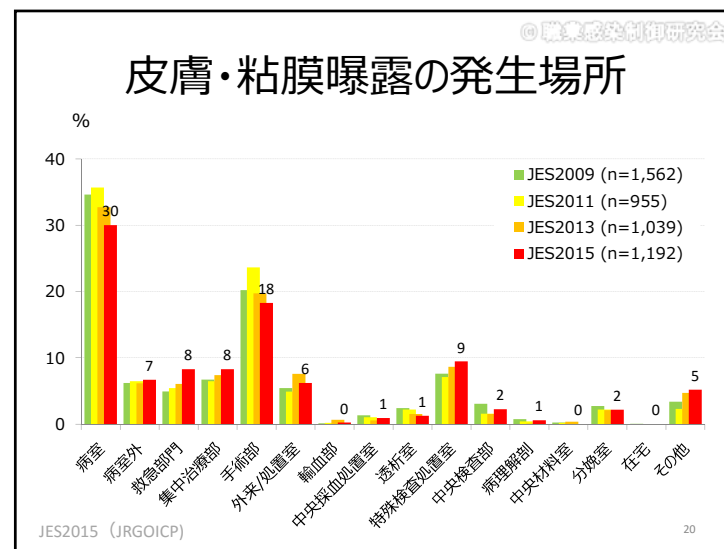
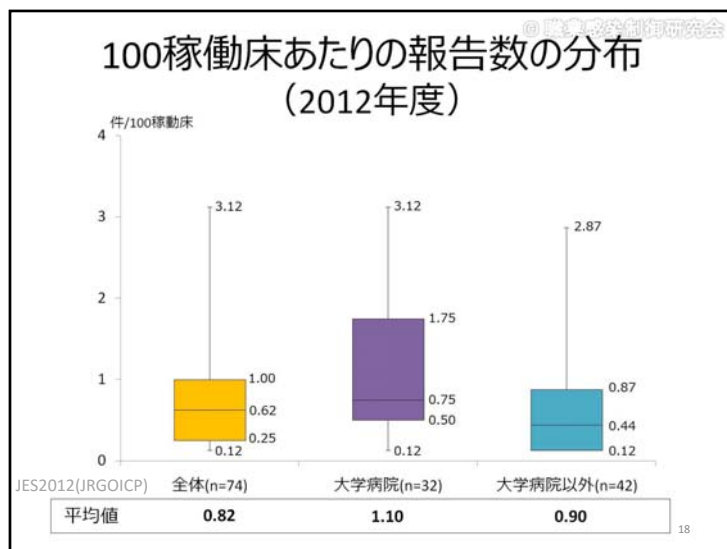
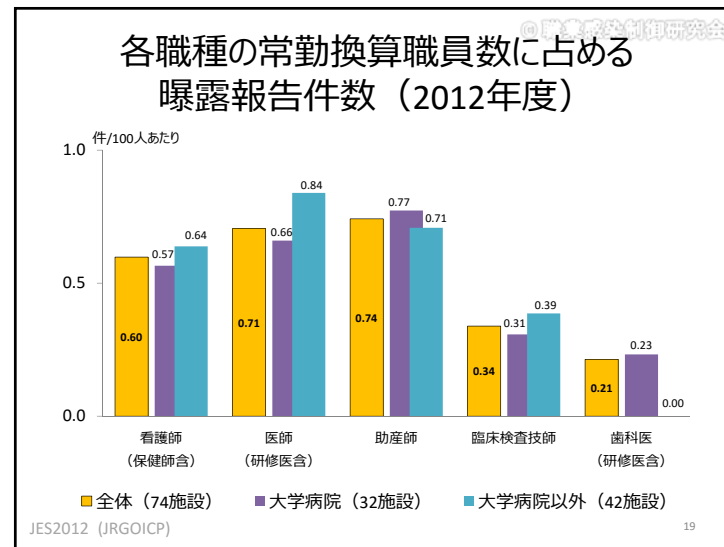
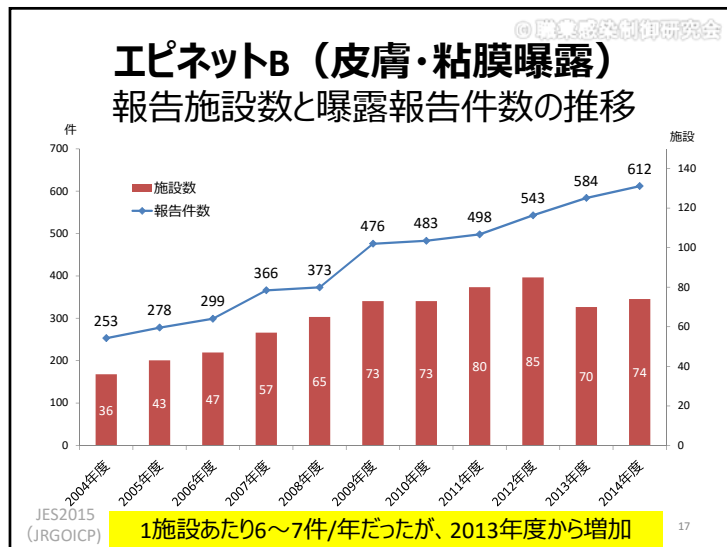
- ・ 曝露者の職種 JES2013と同じ傾向
 - 報告される針刺し切創の半数(49%)は看護師、医師は36%
 - 看護師の割合は減少、医師は増加
- ・ 発生場所
 - 病室、手術室はそれぞれ約3割、病室外、外来/処置室が約1割
 - 病室・病室外の発生割合は減少、手術室は増加
- ・ 曝露した血液・体液の感染症情報 (HCV)
 - HCV抗体陽性の針刺し切創は全体の13.5%を占め、その割合は年々低くなり(46.2%), HCVは陽性例の57.9~60.9%
- ・ 発生状況
 - 使用中は30%、数段階の処置12%、使用后廃棄までは8%
 - リキャップによるものは7%

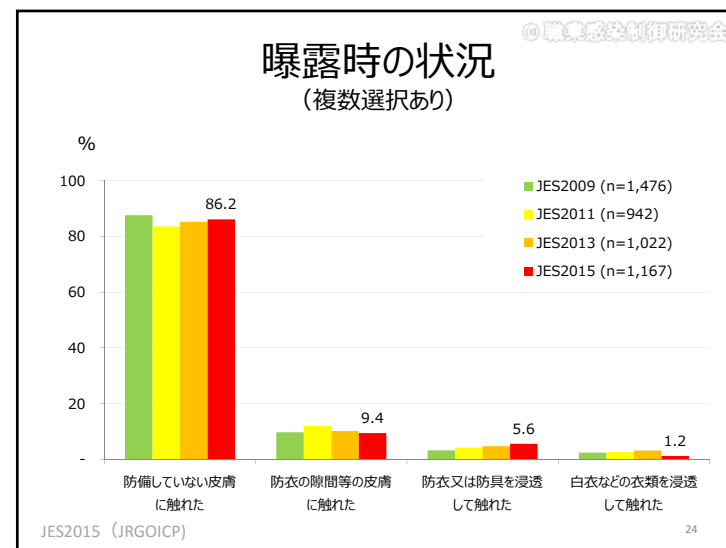
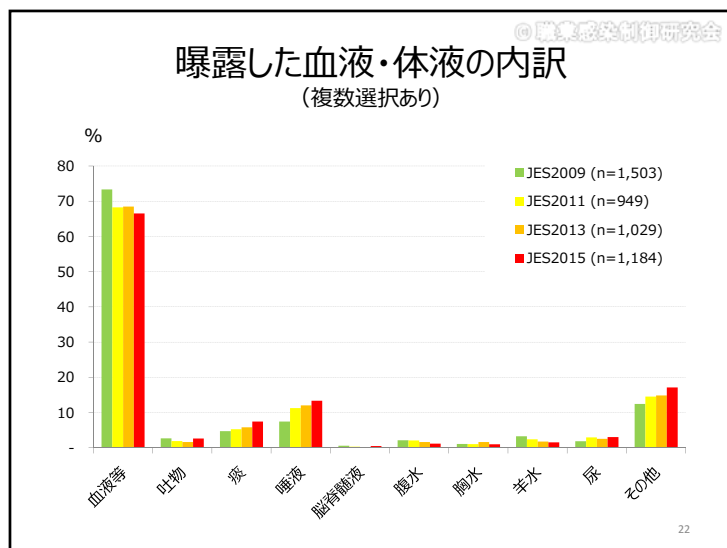
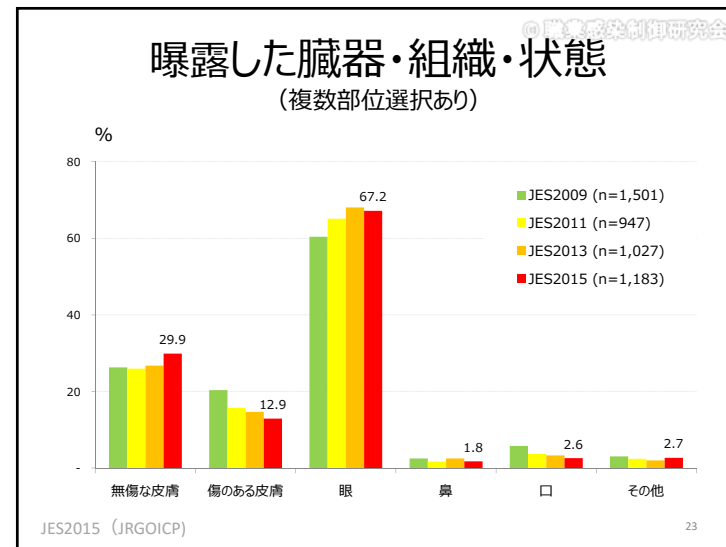
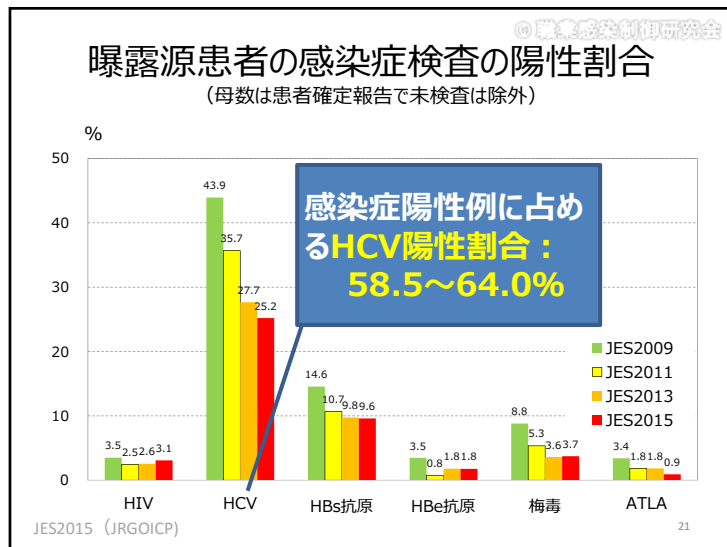
JES2015 (JES2015)

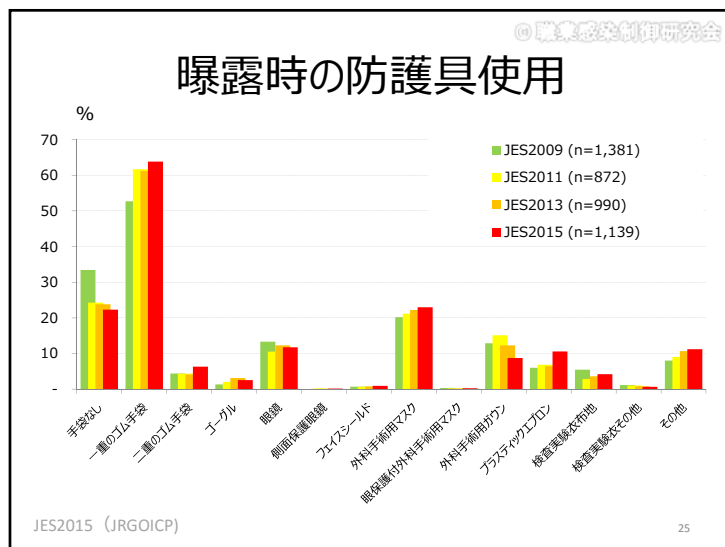
エpiネット日本版サーベイランス2015 (JES2015) 分析方法
Episys B: 皮膚・粘膜曝露

- ・ 分析対象データ
 - JES2015におけるデータ提供は78施設、重複を除く新規データ(2013.4.1~2015.3.31)は1,196件
 - 概要報告では2004月1日~2015年3月31日に発生し、各施設においてエpiネット日本版Bに入力された皮膚・粘膜曝露事例4,765件について報告する
- ・ 分析方法
 - 収集されたデータを集約、データベース化
 - Episys301の集計機能、「見える化君」等を利用して解析

JES2015 (JES2015)







まとめ II

- 曝露源の感染症陽性割合**
 HCV陽性が全体の30%以上を占める。しかし経年的には曝露源の感染症の有無にかかわらず報告するようになってきた。
- 感染症陽性例に占めるHCV陽性割合：58.5～64.0%**
- 曝露物質と曝露部位**
 60%以上が血液に曝露し、60%以上が眼への曝露。
- 曝露時の状況と防護具** 眼の保護対策強化が必要
- 個人用防護具の導入状況**
 手術部門以外の部署での整備強化が必要

JES2015 (JRGOICP) 27

まとめ I

- 皮膚粘膜曝露の発生頻度**
 皮膚粘膜曝露報告は、1施設当たり6～7件/年であった。2012年度の100稼動床あたりの報告は約1件である。大学病院の100稼動床あたりの報告数の75%タイル値は大学病院以外の約2倍(1.75件)と高い傾向を認めた。
- 曝露者の職種**
 報告件数に占める割合では看護師、医師の順で多いが、各職種別常勤職員数に占める割合では助産師、医師、看護師が他の職種に比べて多い。
- 発生場所**
 病室が最も多く、手術室が多い。

JES2015 (JRGOICP) 26

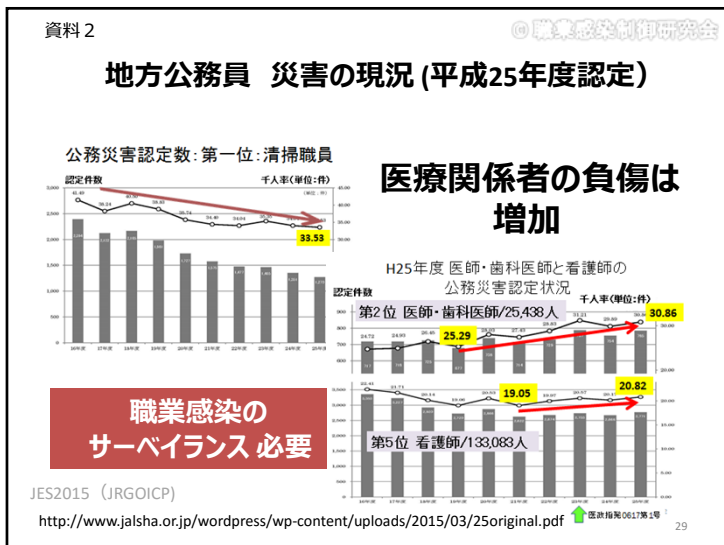
職業感染制御研究会収集データ

2015年12月作成

JES	集計時期	過去 Aデータ	JES2015 Aデータ	連結 Aデータ
厚労科研による研究	2003年度以前	30,725		30,725
JES2009	2004～2008年度	14,519	267	14,786
JES2011	2009～2010年度	5,756	976	6,732
JES2013	2011～2012年度	6,109	479	6,588
JES2015	2013～2014年度		6,201	6,201
合計		57,109	7,923	65,032
エピネット連結Bデータ		合計		5,270

13年間の針刺し・切創サーベイランスデータ

JES2015 (JRGOICP) 28



【注意事項・免責事項】

- 本プレゼンテーション資料の著作権は、職業感染制御研究会に帰属します。
- ユーザーは、これら（一部あるいは全部を問わず）を医療を提供する現場において医療従事者や職員の教育や指導のために使用する場合、使用可能です。
- 商用のための複製、公開、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳、転載、再利用を禁じます（当研究会の企業会員が利用する場合には、ご相談に応じます）。

31

資料3

データを職業感染予防に活用するために

- 地方公務員 災害の現況 (平成21-25年度認定)
- 医師・歯科医師の負傷は第2位 30.9 (千人率)
- 肝臓疾患数は第一位医師(0.4~1.1) *
- 第二位は看護師(0.1~0.4) *

公立病院だけが危険な病院？

国公立大学・私立医科大学、民間病院は??

各種病院協会翼下の病院などの現況は？

産業衛生活動の導入：ICTなどの連携

産業医と産業看護・保健師の専任化

安全配慮義務は？

* [http://jrgoicp.umin.ac.jp/related/%E5%85%AC%E8%A1%86%E8%A1%9B%E7%94%9F%E6%83%85%E5%A0%B12016-3\(10-12\).pdf](http://jrgoicp.umin.ac.jp/related/%E5%85%AC%E8%A1%86%E8%A1%9B%E7%94%9F%E6%83%85%E5%A0%B12016-3(10-12).pdf)

JES2015 (JRGOICP)

30